

中学校学習指導要領

特別活動の改訂のポイント

文部科学省

初等中等教育局

教育課程課教科調査官 長田 徹

中学校学習指導要領「特別活動」の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることを理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

特別活動の特質

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な**集団活動**に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な**集団活動**の意義や活動をする上で必要となることを理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的・実践的な**集団活動**を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

集団活動

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な**集団活動**に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり**資質・能力**を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な**集団活動**の意義や活動をする上で必要となることを理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的・実践的な**集団活動**を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

特別活動の特質

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に**自主的**，**実践的**に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることを理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- (3) **自主的・実践的**な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

自主的，実践的活動

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に**自主的，実践的**に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることを理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- (3) **自主的，実践的**な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

特別活動の特徴

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら**集団や自己の生活上の課題を解決すること**を通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることを理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) **集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するため**に話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

自発的，自治的な活動

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら**集団や自己の生活上の課題を解決すること**を通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な**集団活動**の意義や活動をする上で必要となることを理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) **集団や自己の生活，人間関係の課題**を見だし，**解決する**ために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的・実践的な**集団活動**を通して身に付けたことを生かして，**集団や社会における生活及び人間関係**をよりよく形成するとともに，**人間としての生き方**についての考えを深め，**自己実現**を図ろうとする態度を養う。

中学校学習指導要領「特別活動」の改善

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることを理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，**合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。**
- (3) 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

学習過程「合意形成と意思決定」

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることを理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，**合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。**
- (3) 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

中学校学習指導要領「特別活動」の改善

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら**集団や自己の生活上の課題を解決すること**を通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) **多様な他者と協働する**様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることを理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) **集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決する**ために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，**集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。**

視点「社会参画，自己実現，人間関係形成」

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら**集団や自己の生活上の課題を解決すること**を通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) **多様な他者と協働する**様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることを理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) **集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。**
- (3) 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，**集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。**

中学校学習指導要領「特別活動」の改善

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ，様々な集団活動に自主的，実践的に取り組み，互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して，次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることを理解し，行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活，人間関係の課題を見だし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして，集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに，人間としての生き方についての考えを深め，自己実現を図ろうとする態度を養う。

キャリア教育「特別活動を要に」

集団や社会の形成者としての見方、考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

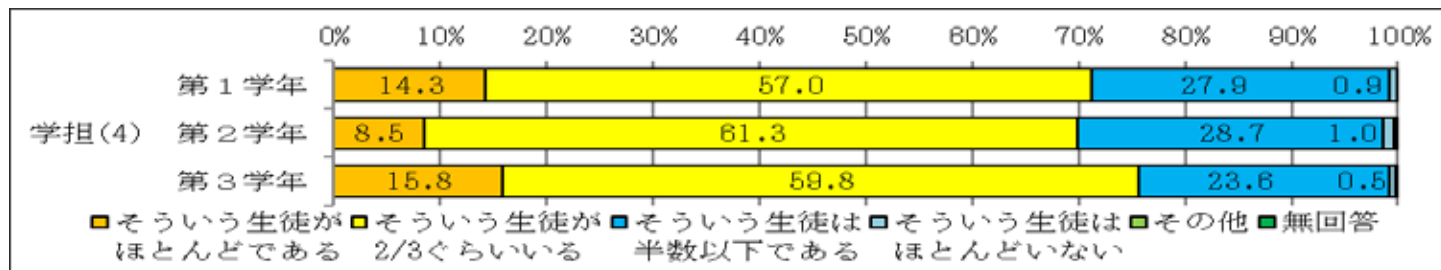
- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的・実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

「合意形成」，「意思決定」を含む学習過程を重視

特別活動の視点を「人間関係形成」，「社会参画」，
「自己実現」に整理，視点を手掛かりに資質・能力を設定

学校教育全体，小学校から高等学校を通じて行う
「キャリア教育」の要と明示

教師質問「生徒は意思決定しているか」

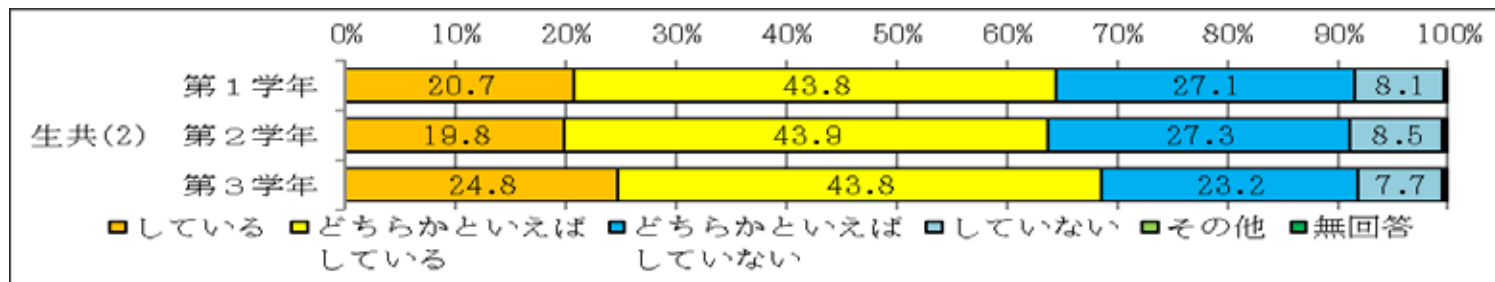


73%

学担(4) 生徒は、日常生活や学習に取り組む目標を自分で決め、実行していますか

平成25年度学習指導要領実施状況調査 教科等別分析と改善点
(中学校 特別活動(質問紙調査))

生徒質問「あなたは意思決定しているか」



64%

生共(2) 話し合い活動で、よい学級や人間関係をつくるため、学級としての目標や方法を決め、実行している

平成25年度学習指導要領実施状況調査 教科等別分析と改善点
(中学校 特別活動(質問紙調査))

中学校学習指導要領「特別活動」 「学習過程」

学級活動(1)における学習過程(例)

学級活動(1)

問題の発見・確認

活動内容

学級や学校における生活をよりよくするための諸問題を見付け、その中から「議題」を学級全員で決定する。話し合いの計画を立て、解決に向けて自分の考えをもつ。

解決方法の話し合い

よりよい生活をつくるための問題の原因や具体的な解決方法、役割分担などについて話し合う。

振り返り

実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに、結果を分析し次の課題解決に生かす。実践の継続や新たな課題の発見につなげる。

決めたことの実践

決定した解決方法や活動内容を責任をもって実践する。

解決方法の決定

話し合い活動で具体化された解決方法等について「合意形成」を図る。

次の課題解決へ

中学校学習指導要領「特別活動」「学習過程」

学級活動（２）（３）における学習過程（例）

学級活動（２）（３）

問題の発見・確認

解決方法の話合い

活動内容

日常生活や自己の課題、目標、キャリア形成や自己実現に関する内容について、教師が設定した「題材」や問題を確認し、課題と解決の見通しをもつ。

設定された題材や自分の問題の状況を把握し、原因や課題解決に向けた具体的な方法などについて話し合う。

次の課題解決へ

振り返り

決めたことの実践

解決方法の決定

実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに、結果を分析し次の課題解決に生かす。実践の継続や新たな課題の発見につなげる。

意思決定したこと、解決方法や活動内容を実践する。

話し合い活動で共有化された解決の方向性等を参考にして自分としての解決方法等を「**意思決定**」する。

中学校学習指導要領「特別活動」 「学習過程」

生徒会活動における学習過程（例）

生徒会活動

問題の発見・確認、議題の設定

内容
活動

生徒評議会：学校における問題の発見・確認
各種委員会：委員会所掌範囲内における学校の問題の発見・確認
生徒総会：取組に関する年間計画の設定及び報告等、議題の提示

解決に向けての話合い

発見した問題や解決の方向性である課題及び解決方法の話合い
生徒総会：「議題」に関する解決方法についての説明

振り返り

実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに、実践の継続や新たな課題の発見につなげる。
結果を分析し次の課題解決に生かす。

決めたことの実践

解決方法や活動内容について、各学級や各委員会への周知等、解決方法の実践
生徒総会：議決された事項について実践

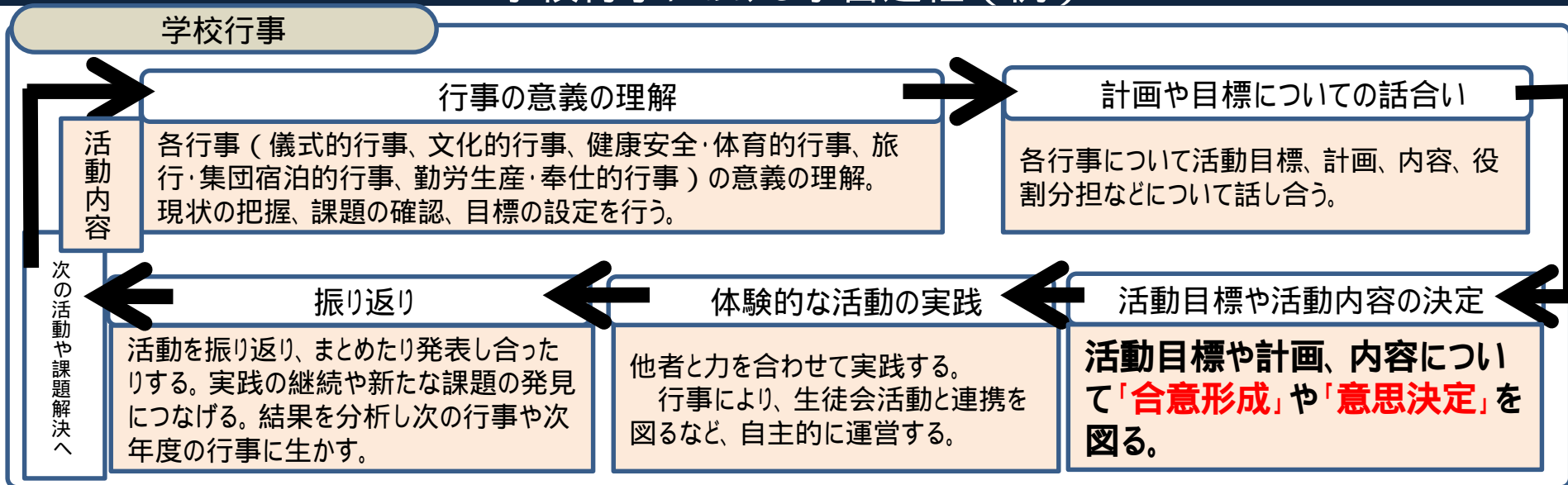
解決方法の決定

解決方法や活動内容についての「**合意形成**」
生徒総会：解決方法への賛否の表明、議決

次の課題解決へ

中学校学習指導要領「特別活動」 「学習過程」

学校行事における学習過程（例）



特別活動の学習過程「意思決定」「合意形成」

学級活動

- (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
- (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

生徒会活動

学校行事

特別活動の学習過程「意思決定」「合意形成」

学級活動

- (1) 学級 **合意形成** る生活づくりへの参画
- (2) 日常の生活や学習 **意思決定** 己の成長及び健康安全
- (3) 一人一人のキャリア **意思決定** 実現

生徒会活動 **合意形成**

学校行事 **合意形成** **意思決定**

中学校学習指導要領「特別活動」改善の方向性

「合意形成」, 「意思決定」を含む学習過程を重視

特別活動の視点を「人間関係形成」, 「社会参画」,
「自己実現」に整理, 視点を手掛かりに資質・能力を設定

学校教育全体, 小学校から高等学校を通じて行う
「キャリア教育」の要と明示

特別活動固有の「視点」

自己実現

- ・集団の中で、自己の生活の課題を発見しよりよく改善する力や自己の理解を深め、自己のよさや可能性を生かす力。自己の在り方生き方を考え設計する力。
- ・集団の中において、個々人が共通して当面する現在及び将来に関わる問題を考察する中で育まれるものと考えられる。

社会参画

- ・よりよい学級・学校生活づくりなど、集団や社会に参画する力及び**諸問題を解決しようとする力**。
- ・集団の中において、個人が集団へ寄与する中で育まれるものと考えられる。

他者

自己

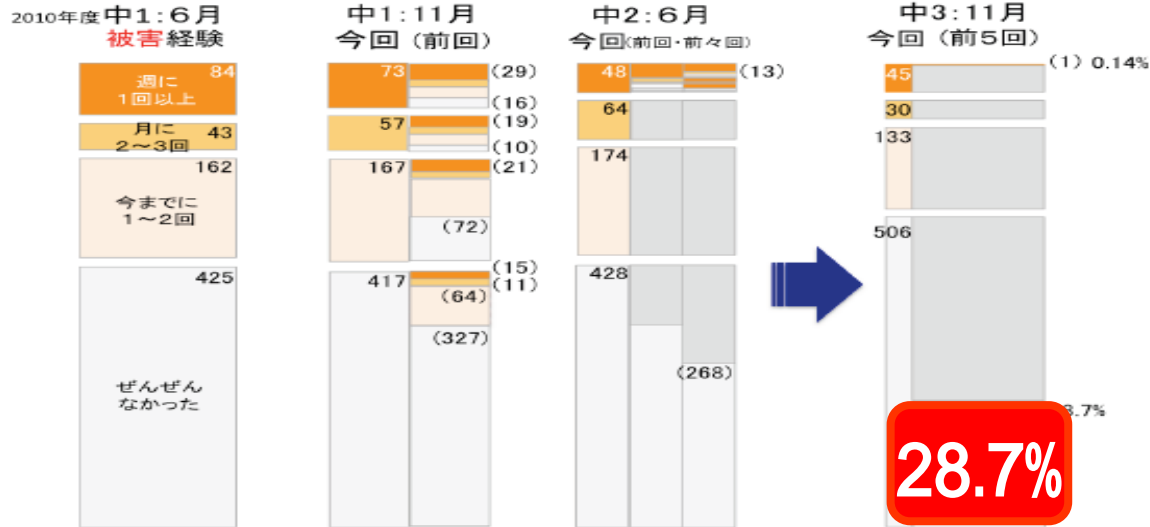
集団・社会

人間関係形成

- ・集団の中で、よりよい人間関係を自主的、実践的に形成する力。
- ・集団の中において、個人対個人という関係性の中で育まれるものと考えられる。

深刻ないじめは、誰にでも起こりうる

2010年度中学1年生の学年進行に伴う被害経験者の推移



「仲間はずれ、無視、陰口」の経験率

(単位は「人」。なお、図中の灰色部分は内訳を省略したことを示す。)

出典：国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター『いじめ追跡調査2010-2012 いじめQ&A』2013年6月

国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター
「生徒指導リーフ」

絆づくりと居場所づくりは「つくる」の主語が違う

児童生徒		<small>外国の留学生と話す生徒</small>	が 絆 を
			つくる！
教職員		<small>回っている児童とやさしく話す先生</small>	が 居場所 を

国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター
「生徒指導リーフ」

絆づくりのカギは「自治的な活動」

児童生徒  外国の留学生と話す生徒

が **絆** を つくる！

教職員  回っている児童とやさしく指導

が **居場所** を

国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター
「生徒指導リーフ」

自発的，自治的な活動の助長

「絆あひだづくり」と「居場所づくり」の違い

「絆づくり」と「居場所づくり」を正しく理解しましょう。

「絆づくり」とは、主体的に取り組む共同的な活動を通して、児童生徒自らが「絆」を感じ取り、結んでいくことを指しています。「絆づくり」を進めるのは児童生徒自身であり、教職員に求められるのはそのための「場づくり(場や機会の提供)」、いわば黒子の役割と言えます。

「居場所づくり」とは、児童生徒が安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場所をつくりだすことを指しています。すなわち、教職員が児童生徒のためにそうした「場づくり」を進めることであり、児童生徒はそれを楽しむ存在と言えます。

- ◆ これからの生徒指導においては、「居場所づくり」にとどまることなく、「絆づくり」を進めていくことが重要。
- ◆ 教師主導のエクササイズやトレーニングを繰り返すだけでは「絆づくり」にはならない。教職員が「絆づくり」を「してあげる」「させる」という発想を捨てる。

自発的，自治的な活動の助長

「絆づくり」とは、主体的に取り組む
共同的な活動を通して、生徒自らが
「絆」を感じ取り、紡いでいくこと

教職員に求められるのはそのための
「場づくり（場や機会の提供）」
いわば黒子の役割と言えます

にはならない。教職員が「絆づくり」を「してあげる」「させる」という

教師が「絆づくり」を「してあげる」
「させる」という発想は捨てる

学級活動（１）話し合い活動や合意形成の充実

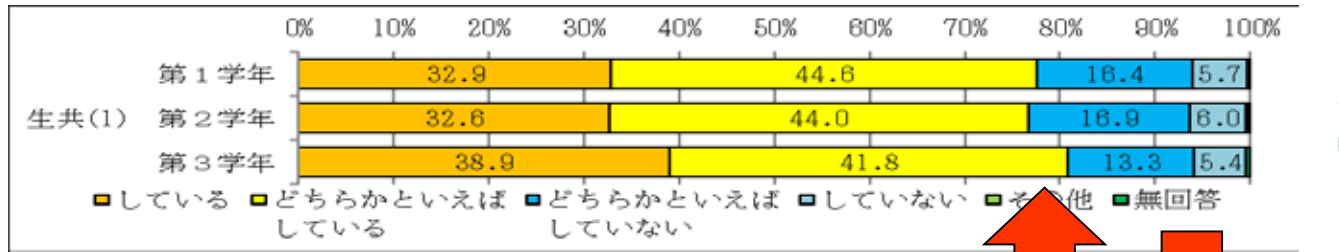
学級活動

- (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
- (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

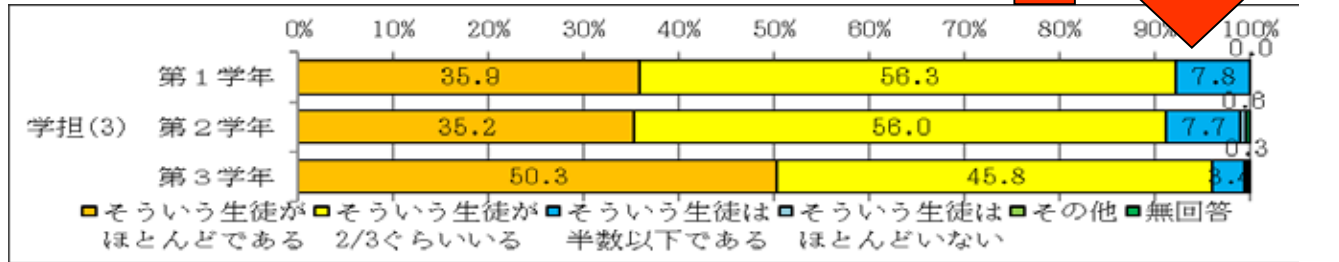
生徒会活動

学校行事

質問「学級でよりよい人間関係を築けているか」



生徒78%



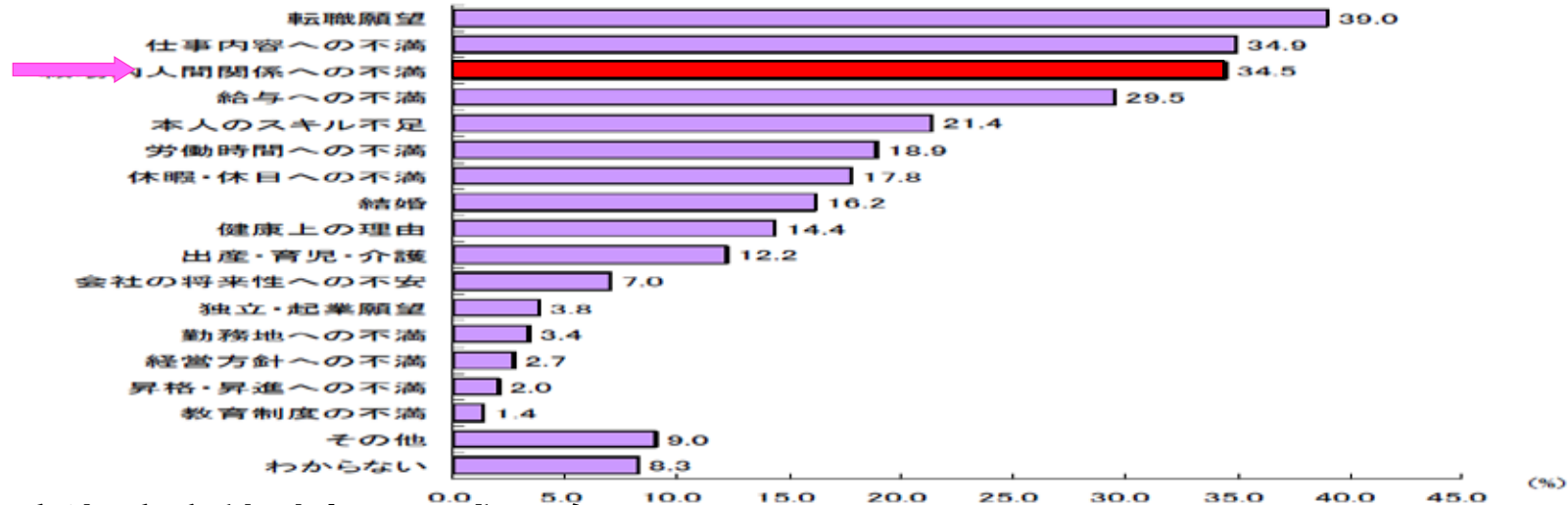
教師93%

生共(1) 互いに話し合い、認め合って楽しい学級にしている (図2)
 学担(3) 生徒は、協力してよりよい学級生活や人間関係を築いていますか

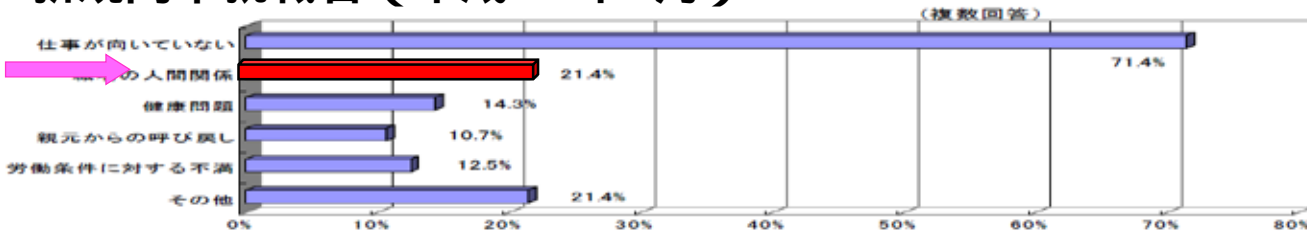
平成25年度学習指導要領実施状況調査 教科等別分析と改善点
 (中学校 特別活動(質問紙調査))

調査「若者はなぜ離職するのか」

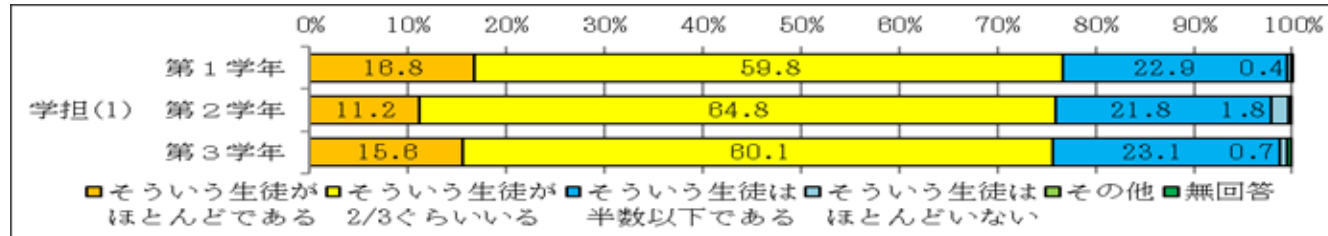
経営者 三重県商工会議所連合会による調査（平成21年2月）



新規高卒就職者（平成20年1月）

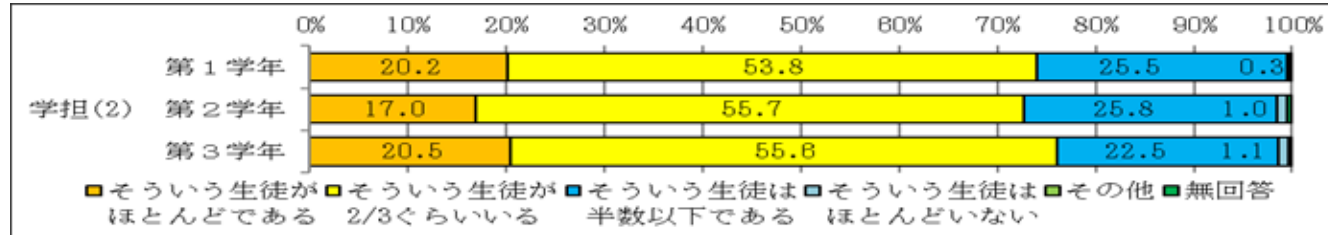


教師質問「社会参画や自治的能力に関する意識」



(図7)

75%

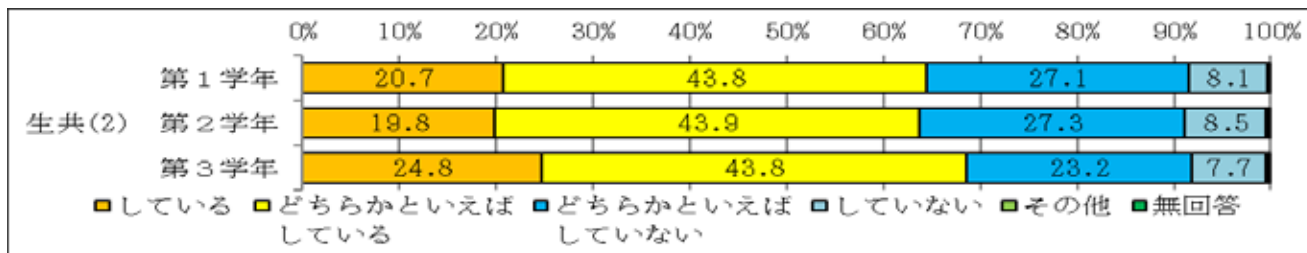


(図8)

学担(1) 生徒は、学級生活向上のための問題を見付けられていますか
 学担(2) 生徒は、学級活動の進め方を理解して、話し合いができていますか

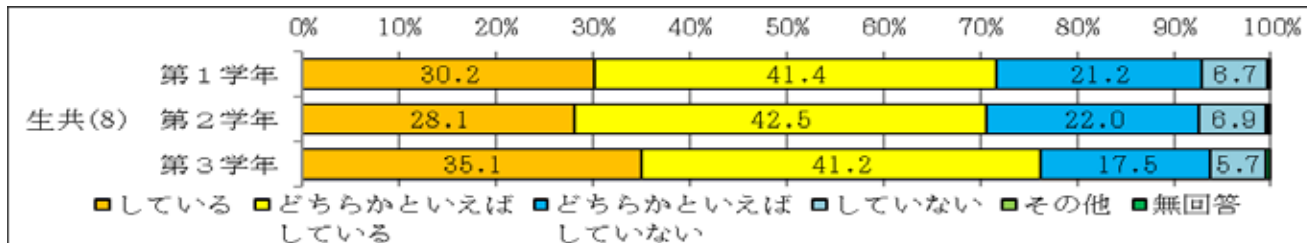
平成25年度学習指導要領実施状況調査 教科等別分析と改善点
 (中学校 特別活動(質問紙調査))

生徒質問「社会参画や自治的能力に関する意識」



(図5)

67%



(図6)

生共(2) 話し合い活動で、よい学級や人間関係をつくるため、学級としての目標や方法を決め、実行している

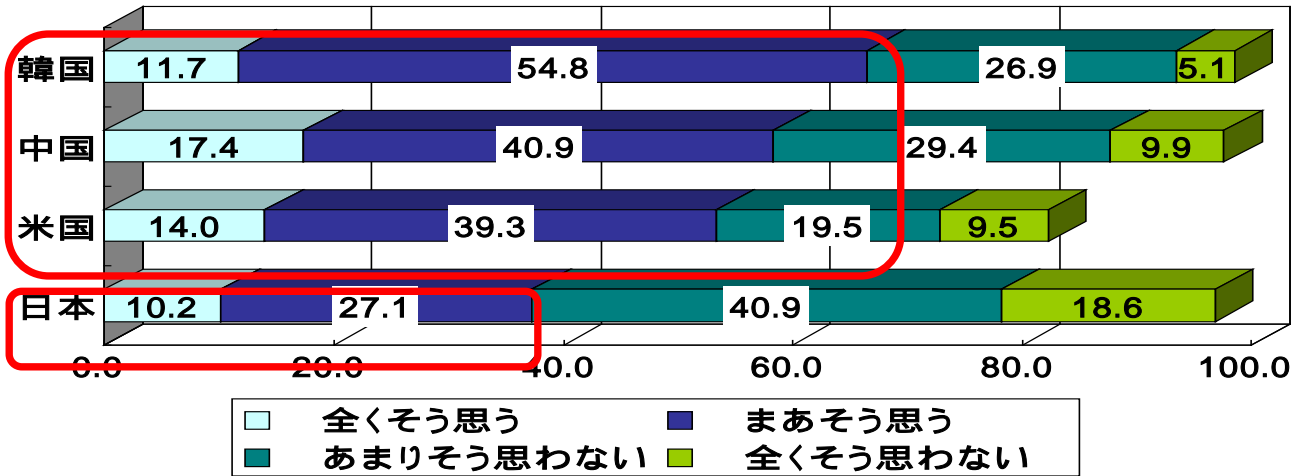
生共(8) 多様な人の生き方を知り、自分らしい生き方を考えて、それが実現できるように努力している

生共(8) 多様な人の生き方を知り、自分らしい生き方を考えて、それが実現できるように努力している

平成25年度学習指導要領実施状況調査 教科等別分析と改善点
(中学校 特別活動(質問紙調査))

社会参画意識が低い中学生

私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない



(出典)

(財)一ツ橋文芸教育振興協会、(財)日本青少年研究所

「中学生・高校生の生活と意識 - 日本・アメリカ・中国・韓国の比較 - (2009年2月)」

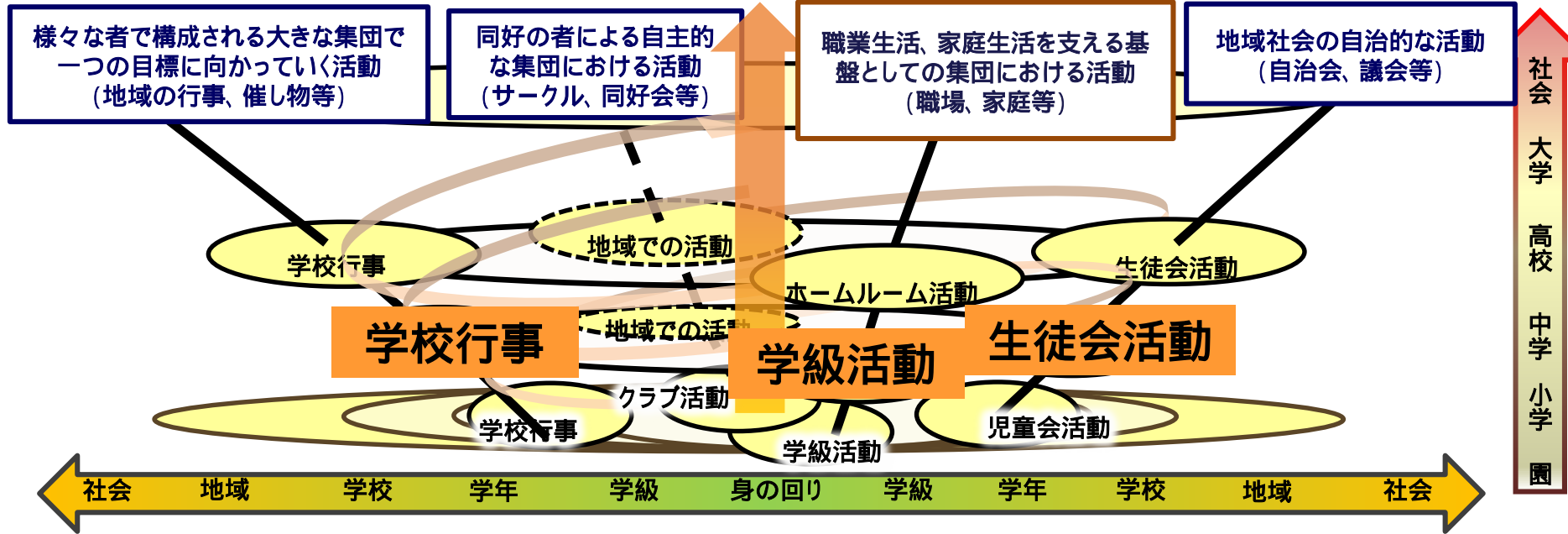
より文部科学省作成

「合意形成」, 「意思決定」を含む学習過程を重視

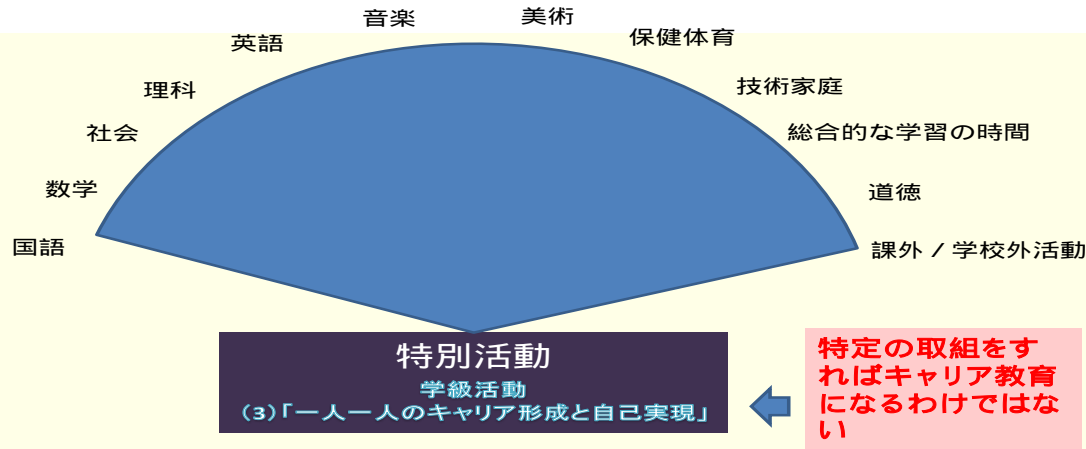
特別活動の視点を「人間関係形成」, 「社会参画」,
「自己実現」に整理, 視点を手掛かりに資質・能力を設定

学校教育全体, 小学校から高等学校を通じて行う
「キャリア教育」の要と明示

特別活動の特質「現在及び将来」



特別活動を要としたキャリア教育の充実



28年中教審答申

実生活の課題を解決するために、互いのよさや可能性を発揮できるような様々な集団活動を通して、各教科等における学びを実際の場面で総合的に活用して実践する時間であるとともに、特別活動の学びが各教科等の学習を行う上での土台となるといった各教科等と往還的な関係にあると言える。

なぜ、特別活動を要とするのか

【中学校学習指導要領解説 特別活動編】

一つ目は、中学校の教育活動全体で行うキャリア教育の要としての特別活動の意義が明確になることである。

横をつなぐ

二つ目は、小学校から中学校，高等学校へと系統的なキャリア教育を進めることに資するということである。

縦をつなぐ

学級活動 3 内容の取扱い(2)

2の(3)の指導に当たっては、学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うこと。その際、生徒が活動を記録し蓄積する教材等を活用すること。

中学校学習指導要領解説 特別活動編

一つ目は、中学校の教育活動全体で行うキャリア教育の要としての特別活動の意義が明確になることである。



横をつなぐ

二つ目は、小学校から中学校、高等学校へと系統的なキャリア教育を進めることに資するということである。



縦をつなぐ

三つ目は、生徒にとっては自己理解を深めるためのものとなり、教師にとっては生徒理解を深めるためのものとなることである。

キャリア・パスポートの意義は？

一つ目は、中学校の教育活動全体で行うキャリア教育の要としての特別活動の意義が明確になることである。

横をつなぐ

二つ目は、小学校から中学校、高等学校へと系統的なキャリア教育を進めることに資するということである。

縦をつなぐ

三つ目は、生徒にとっては自己理解を深めるためのものとなり、教師にとっては生徒理解を深めるためのものとなることである。

自己理解・生徒理解につなぐ